

竜戦士ら技伝授！ 野球教室に200人

辻本選手たちに教えてもらう子どもたち

竜戦士ら技伝授

根尾投手や辻本内野手

野球教室に200人

根尾投手（奥）の助言を受けながら投げる子ども＝いずれも浜松市中央区御給町で

プロ野球中日の選手、コーチによる少年少女向け野球教室が14日、浜松市中央区御給町のグラウンドであった。講師を務めたのは根尾昂投手（25）、辻本倫太郎内野手（24）、浅尾拓也投手（41）、大野奨太バッテリー（38）。県内20チームの約200人が参加し、憧れのアスリートから直接指導を受けた。

（服部剛士）

ウォーミングアップの後、ポジションごとに分かれて練習した。このうち根尾投手と浅尾投手は、投手の子どもたちを指導。軸足の使い方や球速を上げる方法について手取り足取り教えた。

力強いボールの投げ方について質問を受けた根尾投手は「すぐに球を投げるのではなく、軸足で踏ん張って力をためてから投げるのが大切」と答えた。

辻本選手は投手の守備を、大野投手は捕手の捕球動作や送球を指導。球団

トレーナーで浜松市出身の内山靖允さん（42）も体の使い方を手ほどきした。

浜松フットボール少年野球団主将の兵頭鳳我さん（12）は、浅尾投手から投球時の肘の使い方について助言を受けたという。「さすがプロのコーチは教え方がうまいと思った」と振り返った。

根尾投手は終了後の取材で、「子どもたちが体を動かすのは楽しかった。野球を愛んでもらい、少しでも野球人口の増加につなげたい」と語った。

部活動の地域移行に伴い、スポーツをする機会が少なくなつた子どもたちに体を動かす機会を提供しようと、市内の企業有志などのグループ「スポーツを愛する会」が主催した。

エネジンは「スポーツを愛する会」を今年10月に発足。会は地域の子供たちに夢と希望を与え、スポーツを通じて規律やチームワークといった大切な価値観を学んでもらう機会を提供します。これは、未来の地域社会を担う人材への投資にほかなりません。プロの技術を間近で見せ、直接指導を受ける機会は、子供たちにとって貴重な財産となり、「スポーツを愛する会」のイベントに対する高い関心と信頼につながります。このような地道な活動の積み重ねによって、エネジンは単にガスや電気を提供する会社としてだけでなく、「地域を元気にしてくれる会社」「地域を大切にしてくれる会社」として、より深く、永続的に地域住民に愛され、信頼される存在となることを目指しています。

